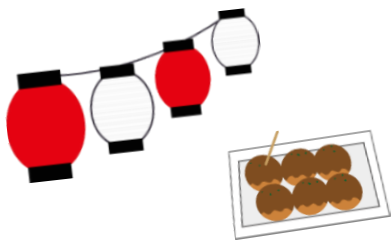


# キッズだより



令和6年8月 第29号  
たかといちどいキッズ



## 子は親の鏡

「愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ」

愛にも様々な形があると思いますが、子どもにとって親の愛は成長に欠かせない土壌です。そして伸びていく方向を決める陽の光であり、欠くことのできない水でもあります。

以前研修で学んだ言葉が、今でも私の中に残っています。『愛してほしいなら愛してあげましょう』という言葉です。『愛』の所に『信頼』や『協力』などもあてはまると思います。では、愛するというのはどういうことなのでしょう？ 愛するとは、言葉で「愛している」と言っても伝わりません。認め・信じ・思いやることです。欠点も含め全存在を受け入れ愛してくれる親がいることで、子どもは人を愛することを学ぶのです。愛情表現の1つとしてスキンシップが大切になります。保育士になりたての頃、子どもとの距離がつかめずに悩んだことがありました。先輩保育士を見ると、子どもと関わっている時、必ず体に触れていました。その姿を見て、私も子どもの手を握ったり背中をさすったり、体のどこかに触れるようにしました。わらべ歌が好きになったのもスキンシップがとれるからです。体に触れて関わっていると、子どもは安心した表情になり落ち着いていました。ご家庭でも絵本を見る時やテレビ（動画）を見ている時など、スキンシップを意識してみてもはどうでしょうか？

先月の個人面談は、保育園や家庭での様子について情報交換ができる有意義な時間になりました。都合を合わせていただきありがとうございました。保護者の方から「家ではそんな姿見たことないです。知れて良かったです。」という声が多くありました。家では見られない友だちと遊んでいる様子や食事の様子など、送り迎えの時間では話さけないことをゆっくりと聞いていただけたと思います。最後に「保育園に対して何かありますか？」とお尋ねすると、皆さんが「安心して預けられている。」と言ってくださいました。すごく嬉しいことです。こうして保護者の皆さんの理解を得られていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き保育士一同、子どもとの関わりを大切に、子どもの成長を保護者の皆さんと共有し合える関係でありたいと思います。



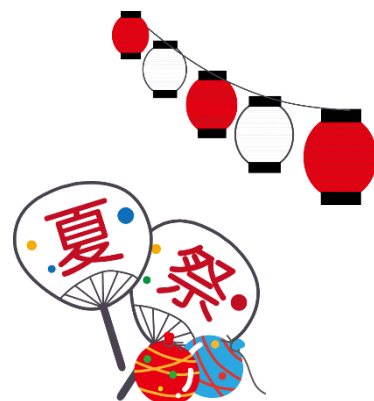
北坂 美知子



### 8月の予定



避難訓練	6日(火)	誕生会	8日(木)
救急訓練	9日(金)	救急訓練	20日(火)
発育測定	22日(木)	内科健診	22日(木)
避難訓練	23日(金)		





あけく・ひかりぐみ



子どもたちは眠くなると、目をこすったり、泣いて抱っこを求めたりして知らせています。先月の初め頃は、なかなか眠れず、30分ぐらいで目覚めてくることもありました。抱っこをしたり、手を握ったりしてゆったりと関わるようにしたことで、今では保育士の傍で安心して眠っています。これからも、一人ひとりの睡眠リズムに合わせて、子守唄を歌いながら優しく体に触れ、一定時間ぐっすり眠れるよう援助していきます。

水遊びでは保育士が水に触れるところを見せると、真似て触れようとし嬉しそうにしています。今月は、氷や寒天などに触れる機会を作り、水遊び以外の夏ならではの遊びを楽しめるようにしたいと思います。



今月のねらい：保育士と一緒に夏ならではの遊びを楽しむ



すやすや



ひかりぐみ



感触遊び（片栗粉遊び）や水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しみました。片栗粉遊びでは、保育士の手の上で溶けたり固まったりする様子を不思議そうに見ていた子どもたち。保育士と一緒に触れる中で、少しずつ片栗粉が変化する面白さに気付いていました。水遊びでは、ジョウロの玩具で雨を降らし「あめ」「つめたーい」と言う姿に共感すると、水の気持ち良さや水遊びの楽しさを感じて遊んでいました。これからも子どもの気付きや感じたことに共感し、様々な感触遊び（水・氷・泡など）を楽しめるようにしていきたいと思います。

戸外から帰って来た際や食事前には、手を洗うことを伝えています。保育士が手を添えて一緒に洗い、綺麗に手洗いができるように関わっていきます。



今月のねらい：保育士と一緒に、綺麗に手を洗おうとする



ひかりぐみ



5月末からたかとりちどり保育園で、オクラを育てています。最初は、小さな葉っぱを不思議そうに見ていた子どもたち。「葉っぱが広がってきたね」「これが実で、オクラになるよ」など、一緒に観察しながら変化を伝えることで、子どもたちは興味津々でした。給食では、「みんなが収穫したオクラが入っているよ」と伝えると、「みずやりしたね！」と言ったり、嬉しそうに指を差したりして食べていました。今後も水やりや観察を続け、生長と一緒に喜んで、収穫してみんなで食べたりし、食べ物への関心を広げていきたいと思います。

今月は、片栗粉、氷などを用意し、子どもの興味や発見、不思議に思う気持ちなどを共有しながら一緒に遊ぶことで、様々な物に触れることを楽しめるようにします。



今月のねらい：様々な物に触れ、感触を楽しむ





12月

水遊びやプール遊びでは、水に少し緊張している子どももいました。初めに保育士が水に手をつけたり玩具と一緒に遊んだりすると、少しずつ水に触れ遊ぶようになりました。「オレンジのさかながつれた」「カニもいるよ」と、友だちや保育士とやりとりをしながら魚釣りを楽しんでいました。連携園の大きなプールを見て子どもたちはとても喜んでいました。足をバタバタさせたり歩いたりして、少しずつ水に慣れていけるようにしました。今月も水遊びやプール遊びの楽しさを共有し、安全に遊べるようにしていきます。

食事の後に椅子を戻したり食器を片付けたりするようになりました。今月は、スプーンや食器の持ち方を伝え、食事のマナーも意識していけるようにします。



みずきもちいい

いちにいちに

さかなつれたよ

今月のねらい：食事のマナーを意識して食べる



《夏野菜について知ろう～コーンバタークッキング～》



7月のテーマは夏野菜。トマト・キュウリ・オクラ・とうもろこしの写真を見せながら、夏に美味しく食べられる野菜であること、太陽の光に負けないよう色鮮やかなのが特徴であることなどを話しました。今回は、そんな夏野菜の中からとうもろこしを題材にし、皮むきをすることにしました。保育士が手を添えながらむけるようにすると、「きいろだ」「ふさふさしているね」と気づいたことを言葉にして伝えている子どももいました。あさひ・ひかりぐみの子どもは、保育士と一緒に皮をむく感覚を味わい、手を叩いて喜んでいました。

夏野菜ってな～に？



まぜまぜ



おいしい！



皮をむくと...  
中から黄色いコーンが！



にじぐみは、エプロン・マスク・三角巾をつけて準備完了！フライ返しを持ち、5まで数えながら保育士と一緒にコーンとバターを混ぜました。混ぜるたびに保育室に良い匂いが広がり、「いいにおい」と言って喜んでいました。夏野菜について知り、料理をするという体験から、食べ物への関心が広がっていたように感じました。今後も、様々な食育を通し、食への興味をもてるようにしたいと思います。 早川 涼香